

日学薬発 2311 号

平成 23 年 7 月 8 日

都道府県学校薬剤師会会長
都道府県薬剤師会学薬部会長各位

日本学校薬剤師会
会長 田中 俊昭



平成 23 年度学校薬剤師研修会の開催について（協力依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は日本学校薬剤師会活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本会は、学校薬剤師の学識向上や連携を深めることを目的とし、その一環として、本年度も社団法人日本薬剤師会との共催により、現場で活躍する学校薬剤師、これから学校薬剤師となる薬剤師を対象とした研修会を開催することといたしました。（別紙開催案内参照）

なお、実地要項につきましては、日本学校薬剤師会、社団法人日本薬剤師会HPにおいてもご確認いただけます。

本研修会は、全国で行われる大会、講習会への参加が距離的に難しいかたにもご参加いただけるよう、各地で開催いたします。

平成 2 3 年度 研修会 実施要領

1. 目 的

(1) 医薬品等の適正使用啓発活動支援

- 1) 学習指導要領が改訂され、中学校学習指導要領の平成 2 4 年度全面施行に向けて、「くすりの正しい使い方」啓発資材等を活用し、学校薬剤師のくすり教育活動を広く支援を継続する（セルフメディケーションの考えに基づく、くすり教育授業（導入・流れ・実践等）のあり方、薬物乱用防止活動（タバコ等のゲートウェイドラッグ）、薬害を含む学校薬剤師活動の支援を継続する）。
- 2) 学校薬剤師業務の基本となる学校環境衛生の維持・管理について、具体例と範囲を示し、学校薬剤師活動の支援を継続する（学校薬剤師 2011（赤本）を活用し、新人研修のあり方、学校給食における衛生管理、消毒剤の正しい使い方等を含めた研修を行い、現場の学校薬剤師を支援する）。
- 3) スポーツ・ファーマシスト制度導入に伴う、学校薬剤師のドーピング防止活動の支援・広報を行う。

(2) 関係法規等の啓発および支援

- ・現場で活動する学校薬剤師の対応や法解釈等への理解について支援を継続する。

(3) 学校薬剤師を巡る最近の話題への対応等

- 1) 薬学生の学校薬剤師活動に関する実務実習の支援への対応。
- 2) 災害時の学校薬剤師の対応等への支援・広報。
- 3) 将来ビジョン。
- 4) その他、放射能汚染等最新の話題への対応など。

2. 開催主体 日本薬剤師会、日本学校薬剤師会
共催予定 日本薬剤師研修センター

3. 対 象 主に学校薬剤師

4. 実施日程

会 場	開 催 日	会 場
北海道	11月20日(日)	旭川薬剤師会館
東 京	11月27日(日)	こどもの城
愛 知	9月23日(祝)	名古屋市内を予定
大 阪	11月 6日(日)	大阪府薬剤師会館大ホール
宮 崎	9月11日(日)	シーガイアコンベンションサミット

5. 主テーマ 「今後の学校薬剤師業務を考える」

6. 研修内容(講師は日本学校薬剤師会の講師バンクを活用予定)

- ①. 「(仮題)学校環境衛生のあり方について」
- ②. 「(仮題)学校薬剤師が行うくすり教育について」
- ③. 「(仮題)学校薬剤師を巡る最近の話題等について」

7. 会場及び開催日時(実施日程参照)

各会場、開始時間13時30分前後を目安に、講演3題(各60分程度、質疑応答を含む)を行うこととする。

講師については、現在、選定中であり、選定され次第日薬ホームページ等で告知する予定。

8. 受講料:

日薬・日学薬会員、研修センター賛助会員

・・・・・・・・・・2,000円[消費税込](テキスト代含む)

非会員・・・・・・・・・・3,000円[消費税込](テキスト代含む)

9. 問い合わせ先

〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1 富士・国保連ビル7階

日本薬剤師会 担当事務局 業務部学術業務課

学校薬剤師研修会係

TEL 03-3353-1170 FAX 03-3353-6270

E-mail gaku@nichiyaku.or.jp

※受講申込みに係る個人情報、研修会の開催に必要な参加確認、連絡等に使用させていただきます。同研修会以外の目的に利用することはありません。

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度対象研修会(2単位)申請予定です。